

# よくまう紙ふぶきのひみつ

芦北町立佐敷小学校 6年 清永 楓子

## 1 研究の動機

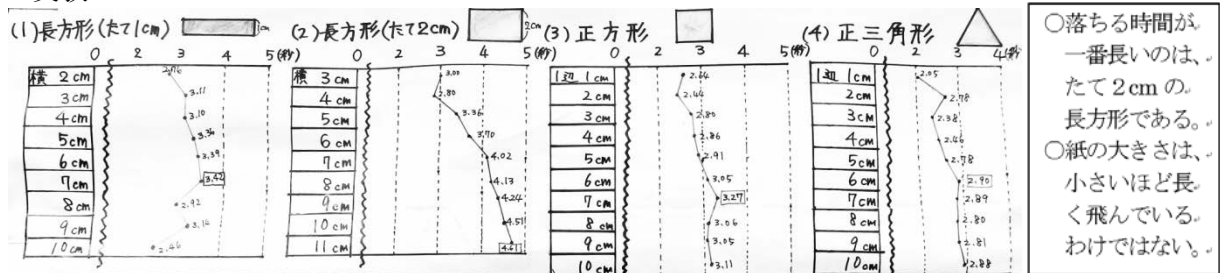
私は7月に、「子ども観光大使」として、山鹿の八千代座に行き、ステージに紙ふぶきがひらひらときれいにまうのを見た。そこで私は、紙の形や大きさによって紙ふぶきの落ち方に違いがあるのか疑問に思い、調べてみることにした。

## 2 研究の方法、結果及び考察（詳細は割愛）

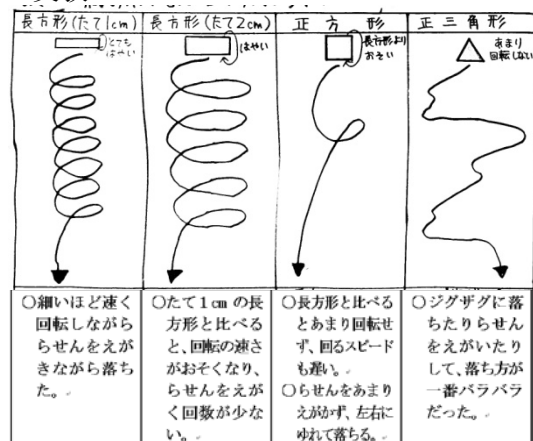
- (1) <実験1>紙の形（長方形2種類、正方形、正三角形）・大きさ（9～10種類）と落ちる時間の関係を調べる。（時間は10回計測し、平均をとる。）
- (2) <実験2>紙の形（長方形2種類、正方形、正三角形）による落ち方のちがいを調べる。
- (3) <実験3>紙の形（長方形2種類、正方形、正三角形）と広がり方の関係を調べる。
- (4) <実験4>紙の種類（ノート、画用紙、クッキングペーパー、新聞紙、新聞のチラシ、半紙、折り紙）と落ちる時間の関係を調べる。（時間は10回計測し、平均をとる。）

## 3 研究の結果及び考察（詳細は割愛）

### <実験1>



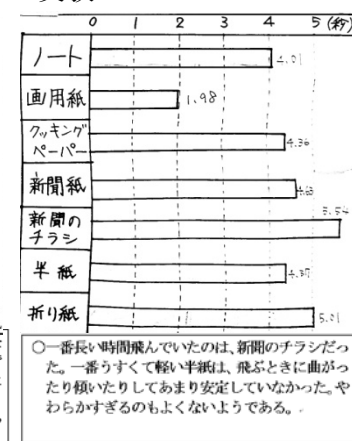
### <実験2>



### <実験3>



### <実験4>



## 4 研究のまとめ（詳細は割愛）

- 紙の形や大きさ、種類によって、床に落ちるまでの時間や落ち方がちがう。
- 長方形が一番安定した落ち方をする。（回転、らせんをえがいて落ちる。）その結果、長方形が一番落ちるのに時間がかかる。
- 正三角形が一番不規則な落ち方をする。また、正方形が一番広がって落ちる。
- 紙はうすくて軽ければ長く飛ぶとは限らず、ある程度の厚さや重さが必要である。